

トップメッセージ

社会と企業の持続的発展を目指して



代表取締役社長

北野隆典

昨夏は、世界各地で数カ月をわたり気温が高い状態が続き、日本においても、福岡・大分両県を中心に九州北部を襲った集中豪雨、8月下旬まで続いた長雨など、地球温暖化の影響により各地で「異常気象」が発生しました。

この温暖化の原因とされるCO₂などの温室効果ガス削減は、政府、行政、企業などあらゆるレベルの関係者がさまざまな立場から考え、それぞれがしっかり行動を起こしていくことが求められています。また、最近ではCO₂削減だけでなく、自然災害等も加味したトータルでの環境活動・企業活動が求められる時代となってきました。

こうした中で、「ものづくり」を企業活動の根幹としている私どもスタンレーグループにおいても、事業活動に伴い使用するエネルギーの効率化を図ることや、環境に配慮した製品づくりをすることは、欠かすことの出来ない重要なテーマとなっております。

特に、私どもが事業活動を進めるうえで注力しているのは「徹底したムダの排除」です。すなわち、あらゆるビジネスプロセスにおけるムダを無くすことによって事業活動に投入している原材料やエネルギー等の資源を最小限に抑え、それを無駄なく活

用して生産性をあげることにより環境保全と経済的な発展の両立を達成することです。

この活動の結果、付加価値額あたりのCO₂排出量の指標である付加価値額原単位は国内・海外ともに順調に目標を達成しております。

また、地球規模で進みつつある水不足や水質汚染、大気汚染の問題などに対して、水や空気の殺菌浄化に向けたLED光源の開発も進めております。今後も、環境問題への取り組みによる技術革新や製品開発を企業の成長の原動力とするために、積極的な活動を推進いたします。

私どもスタンレーグループは、かけがえのない地球と自然の豊かな恵みを、健全な状態で次世代に引き継ぐために英知を結集し、社会と企業の持続的発展を目指してまいります。

ここに、スタンレーグループの昨年度の環境保全活動を「2018環境報告書」としてまとめました。

この報告書により、環境保全への当社の取り組み姿勢や具体的な活動内容をご理解いただき、今後の活動強化に向けた率直なご意見をいただければ幸いです。